在宅医療支援システム研究会次第

日時　平成２９年４月２４日（月）
　　１８時３０分～
場所　介護老人保健施設くろかみ　研修室

１　開　　会

２　あいさつ

３　報告・紹介事項

（１）新見市在宅医療・介護連携支援センター事業について（医師会受託）

（２）新見市情報連携システム推進事業補助金（事業主体医師会）

（３）岡山県認知症ケア医療連携補助金（申請予定：事業主体医師会）

（４）晴れやかネット改修に係る意見交換（4/21）について

（５）日総研からの原稿依頼「ＩＣＴを活用した退院調整」執筆について

（６）その他

４　協議事項

（１）　平成２９年度における研究会の活動について
（基本方針）
行政を含む多職種の参加者により、遠隔医療を初めとしたＩＣＴを活用した医療・介護連携の各種活動に対する検討を行うとともに、地域包括ケアシステム実現への方策の検討も合わせ行う。

（２）　その他

５　その他

次回開催日
平成２９年５月　　日（　　）

事　業　計　画　書

委託事業者名（一般社団法人　新見医師会）

事　業　名	平成29年度　在宅医療・介護連携推進事業
事業実施期間	平成29年4月1日　～　平成30年3月31日
目　　的	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進することを目的とする。
事業計画	【(1)地域の医療・介護サービス資源の把握】 地域の医療機関、介護事業所等の住所、機能等を把握し、これまでに自治体等が把握している情報と合わせて、リスト又はマップを作成する。 ・作成済みの「在宅医療連携ガイド（在宅医療地域資源マップ含む）」の修正・変更 ・正誤表の作成・配布 【(2)医療・介護関係者の情報共有の支援】 情報共有の手順等を定めた情報共有ツールを整備する等、地域の医療・介護関係者の情報共有を支援する。 ・H29.2月版新見版情報共有書の利用促進・普及啓発・相談支援 ・Z連携の利用促進・普及啓発・相談支援 【(3)在宅医療・介護連携に関する相談支援】 地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの、在宅医療・介護連携に関する事項の相談の受付を行う。また、必要に応じて、退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整や、患者・利用者又は家族の要望を踏まえた、地域の医療機関等・介護事業者相互の紹介を行う。さらに、相談対応の窓口やその役割が関係者等に明確に理解されるよう名称を設定し、関係者に周知する。 ・入退院ルールの見直し、改訂版作成 ・入退院時の連携支援 【(4)医療・介護関係者の研修】 地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修を行う。 ・医療・介護従事者への研修会　年2回程度 ・多職種連携会議　年3回程度

ICTを活用した連携ツール比較表

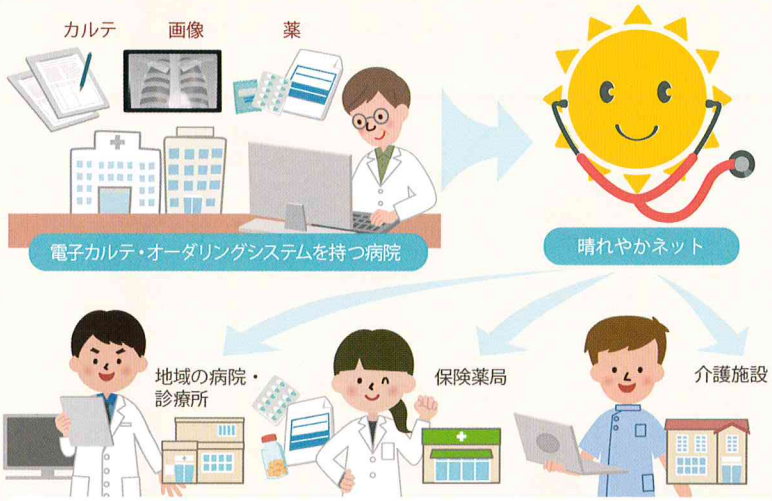
	メディカルケアステーション	まめネット	Z連携
料金	無料	介護事業所VPN機器レンタル込で月1780円	実証期間中につき無料
セキュリティー	TLS1.2	IP－VPN、Ipsec-IKE	SSL2.0 ※TLS1.2対応予定
利用可能端末	パソコン、スマホ、アイパッド等	パソコン、アイパッド（専用貸出端末）	パソコン、スマホ、アイパッド等
共有可能情報	写真、ワード、エクセル、PDF、動画 1ファイル50MBまで	写真、ワード、エクセル、PDF、動画、認定情報、ケアプラン、サービス提供表	写真、ワード、エクセル、PDF、新見版情報共有書 1ファイル2MBまで
セールスポイント	・端末や環境を選ばず、いつどこからでも利用できるためリアルタイムに情報共有が出来る。 ・全国180ヶ所以上の医師会（栃木県医師会、京都府医師会、埼玉県医師会等）で採用されている。	・認定情報を居宅介護支援事業所で閲覧、印刷できる。 ・介護ソフト（ほのぼの、ワイズマン等主要6社）で作成したケアプラン、提供表をそのままやり取り出来、2重入力がない。また、交付、実績管理がまめネット上で可能。 ・島根県が主体となって整備しており、県内他地域との広域連携が可能。	・新見版情報共有書（地域連携パス）の入力支援機能が充実しており、作成、共有が容易に出来る。 ・端末や環境を選ばず、いつどこからでも利用できるためリアルタイムに情報共有が出来る。

医療ネットワーク岡山
晴れやかネット

晴れやかネットでいつでも安心
的確でスムーズな治療が受けられます



晴れやかネット診療情報共有の仕組み



病院の電子カルテや画像情報、検査結果などの診療情報を、ID-Link(NEC) または HumanBridge(富士通) の連携システムにより、かかりつけの診療所などの医療関係施設から参照できるシステムです。

みなさんは、はじめてかかったお医者さんに、ご自分の病気や別の病院での治療内容をうまく説明できなかったという経験はありませんか？　また、検査のために、ご自宅から遠い病院に何度も通ったことはありませんか？「晴れやかネット」は、患者さんの同意のもとに、各医療機関に保管されている医療情報を高度に暗号化して、インターネットで結び、相互に共有することにより診療に役立てるための仕組みです。

「晴れやかネット」を利用することで良質な医療サービスを受けることができます。

基本機能

医療施設で晴れやかネット参加をお申し出ください。

かかりつけ医院・診療所の担当医師からの説明・同意書の記入 ≫ 情報公開 ≫ 情報の参照

※晴れやかネットは、診療に役立てるための情報を共有するしくみです。参照は医療従事者に限ります。



お問い合わせ
一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会（晴れやかネット事務局）
〒700-0024　岡山市北区駅元町19-2　岡山県医師会館5階／TEL：086-259-2077
FAX：086-259-2088／URL：http://hareyakanet.jp／E-mail：office@hareyakanet.jp

●晴れやかネットのしくみや参加施設については…
晴れやかネット　検索

拡張機能

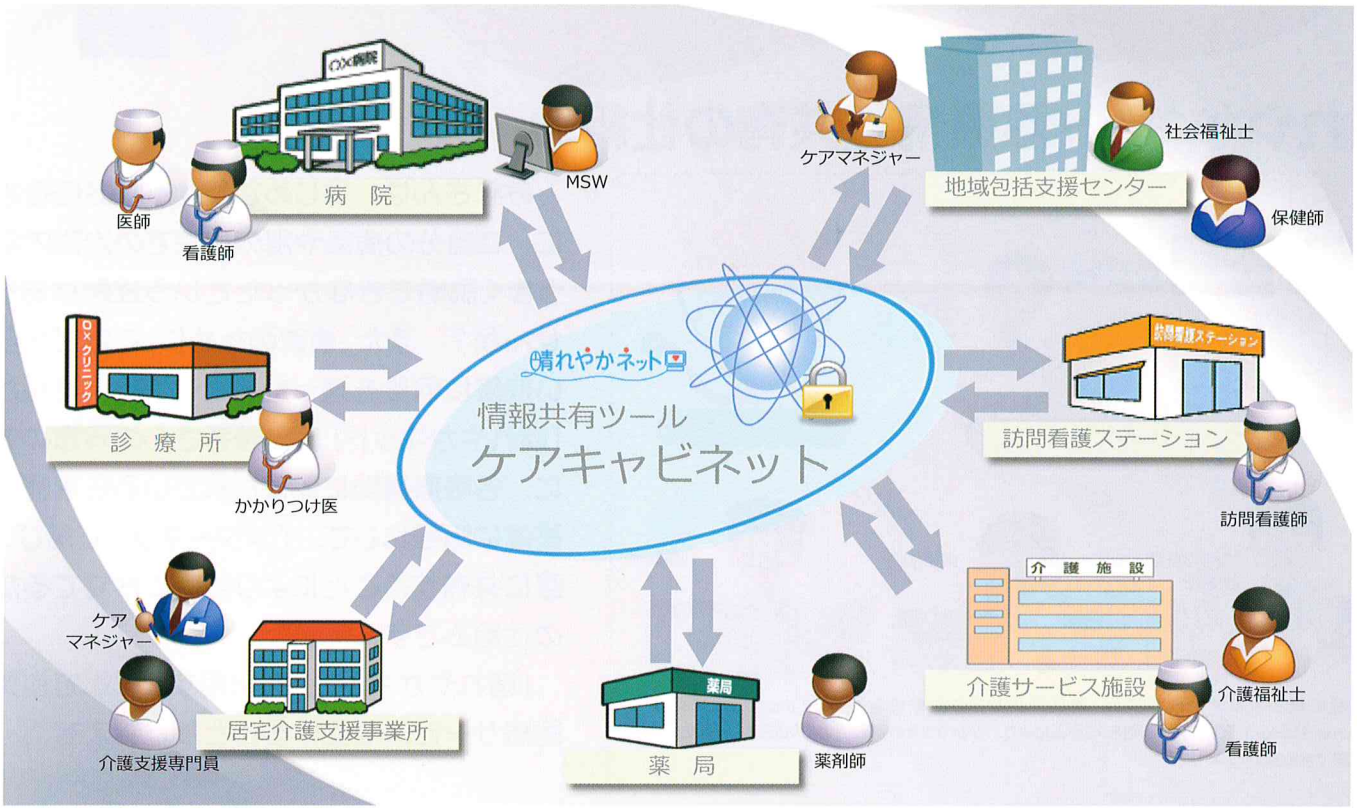
あなたのまちで介護にも連携の輪が拡がっています

晴れやかネットでは、これまでの医療連携に加え、医療・介護の関係者が、患者の療養情報が記載されている連携シートなどを用い、迅速かつ的確に患者の情報を共有するシステム（ケアキャビネット）を平成 26 年 3 月より運用しています。

▶これまでの難しかった患者さんの日々のケア情報、画像、動画、テキストデータなどの在宅医療・介護の現場の情報をタイムリーに共有し、多職種間での円滑なコミュニケーションを可能にします。

▶このシステムにより、医療・介護に関わる多職種の連携が促進され、質の高いサービスが切れ目なく提供できるようになります。

情報共有ツール ケアキャビネット



システム概要

従来電話や書類等のやりとりで交換していた患者に関する施術、処方、治療方針などの情報を関係者がそれぞれに入力、閲覧することができ、情報共有を図ることができるツールです。



※画面はイメージ

利用者の声

床ずれ管理は多職種で共有しないといけないが、写真が迅速に多くの人に伝わるので大変便利（訪問看護）

気になったことを医師にすぐに伝えられるため、利用する機会が増えました。（ケアマネ）

ケアキャビネット～参加状況～

- 現在5地区（岡山市、井笠地区、高梁市、総社市など）で、医師、訪問看護、ケアマネ、保健師、ヘルパーなどが参加し、多職種連携に活用されています。



	施設数	利用者数
もも脳ネット（岡山市）	13	42
むすびの和（井笠地域）	107	323
やまぼうし（高梁市）	56	171
きびきび（総社市）	122	337
グリーングラス（備前市）	18	52
PERIOnet（岡山市）	1	7
計	317	932

平成29年3月31日現在